

特定非営利活動法人トムトム

令和3年度
事業報告(案)

~~社外秘~~

※関係者以外閲覧禁止

法人全体

1、基本理念

ハンディのある方とご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには、利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やその障がいの種別にかかわらず、利用者主体のサービスの確立をめざします。

2、運営方針

- (1) 利用者本人を主体とした個人の生活、活動の場と支援体制の充実を目指す。
- (2) 利用者の権利擁護とサービスの向上を目指して、事故と虐待を防止し、権利擁護推進のための活動をすすめる。
- (3) 地域の関係団体や施設等と連携を図り、地域福祉のネットワークづくりを目指す。
- (4) 職員の資質向上を目的として、研修や人事管理制度の整備を目指す。
- (5) 安定したサービスが提供できるよう、労働条件、職場環境等の整備を図る。
- (6) 適切な財務管理と会計処理システムに努め、信頼性の高い効果的、効率的な経営体制を目指す。

3、重点課題

- (1) 安心できるより良いサービス提供の実現
 - ① 本人を尊重した個別支援計画の作成
 - ② 本人を主体とした実践の振り返り
- (2) 新型コロナウイルス感染症予防と対策
 - ① 厚生労働省より打ち出されている感染症対策ガイドラインや感染対策マニュアルを参考にしながら、職員ひとりひとりが新型コロナウイルスについて正しい認識を持つとともに、感染対策マニュアルを通して、基本的な感染症対策を含めた共通理解を深めるよう、引き続き努めていく。
 - ② 利用者や職員に万が一、新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について、事態に迅速に対処するために、あらかじめ作成した対応マニュアルに沿って法人本部が指揮を執り、関係機関等と連携対応する。
- (3) 安定した運営の実現
 - ① 法人内事業所間の情報共有と連携体制の強化
 - ② 人事制度に伴うキャリアアップ制度の運用と見直し
 - ③ 人材育成のための職員研修の実施
- (4) 事業展開と今後の見通し
 - ① 就労支援事業の作業に伴う他法人との連携と、体制の強化
 - ② 新たな生活介護事業所の開拓
 - ③ 指定共同生活援助に関する事業の検討

4、 会議行事等(総会・理事会等)

会議名	種別	開催日	内容
監査	定時	令和3年5月20日	令和2年度事業に係る理事の業務執行状況及び法人の財産の状況の監査
理事会	第1回	令和3年5月31日	①令和2年度事業報告(案) ②令和2年度決算報告(案)及び監事監査報告
総会	定時	令和3年5月31日	①令和2年度事業報告(案) ②令和2年度決算報告(案)及び監事監査報告 ③令和3年度事業計画(案) ④令和3年度予算(案)
理事会	第2回	令和3年11月24日	①令和3年度上半期事業報告(案) ②令和3年度上半期決算報告(案)
理事会	第3回	令和4年3月29日	①令和4年度事業計画(案) ②令和4年度予算(案) ③規程改定(案)

5、 会員

正会員38名、賛助会員42件

6、 事業運営

事業所名		所在地	事業種別	事業(サービス)名	サービス提供地域
本部		西真土		法人本部業務,総務(経理・労務・庶務)	
トムトム相談室		南原		計画相談支援,障害児相談支援	茅ヶ崎市 平塚市
茅ヶ崎支部	あいあいクラブ	萩園	障害福祉サービス	多機能型 放課後等デイサービス	茅ヶ崎市 寒川町
	からんころん			生活介護	
	ゴロゴロクラブ	赤羽根		茅ヶ崎市日中一時支援	
	とむ郎	香川		共同生活援助	
	モンキーポッド	萩園		茅ヶ崎市日中一時支援	
平塚支部	えぼっくハウス	南原	自由契約	生活介護	平塚市
	やなぎこんぶ	中原		就労継続支援B型	
	キャロット工房	西真土		平塚市日中一時支援	
	えぼハウ	御殿		放課後等デイサービス	
	ゆうゆうクラブ			居宅介護,重度訪問介護,移動支援	
	ぶんぶん	南原		個別支援(パーソナル)	

7、施設管理業務

(1) 建物の状況

No	所在地	床面積	事業所
1	平塚市南原2-4-5 マインズビル1階	206.25 m ²	ぶんぶん, えぼっくハウス, トムトム相談室
2	平塚市南原2-4-5 マインズビル403号室	41.25 m ²	
3	茅ヶ崎市赤羽根2165-2	120.89 m ²	ゴロゴロクラブ(9月末まで)
4	茅ヶ崎市香川4-21-12	148.65 m ²	とむ郎
5	平塚市中原2-6-63	101.84 m ²	やなぎこんぶ
6	平塚市西真土1-7-62	126.37 m ²	キャロット工房
7	平塚市西真土1-7-56	130.00 m ²	グリーン工房, 本部
8	平塚市城所1382	162.47 m ²	アンヌ
9	高座郡寒川町一之宮1-9-15	49.50 m ²	いずみビル201号室
10	平塚市御殿1-7-6	118.38 m ²	ゆうゆうクラブ
11	茅ヶ崎市萩園2336-2	198.78 m ²	あいあいクラブ(9月末まで), からんころん
12	平塚市御殿1-33-21	59.52 m ²	えぼハウ
13	茅ヶ崎市萩園1602	198.74 m ²	モンキーポッド, あいあいクラブ(10月から)
14	高座郡寒川町一之宮1-9-15	128.00 m ²	青果ことぶき

(2) 駐車場の状況

No	所在地	台数	No	所在地	台数
1	茅ヶ崎市萩園2336-1	14 台	11	平塚市南原2-3-11	1 台
2	茅ヶ崎市萩園1624	4 台	12	平塚市南原2-8-14	5 台
3	茅ヶ崎市松林3-821(9月末まで)	4 台	13	平塚市南原2-2-13	3 台
4	茅ヶ崎市香川4-400-1	3 台	14	平塚市南原2-4-7	5 台
5	平塚市御殿1-7-17	4 台	15	平塚市南原2-4-9	4 台
6	平塚市御殿1-23-3	2 台	16	平塚市西真土1-1512-1	5 台
7	平塚市御殿1-1111-4	2 台	17	平塚市西真土1-1521-1	4 台
8	平塚市御殿1-112-3	8 台	18	平塚市西真土1-1512-3	1 台
9	平塚市南原2-187-1	1 台	19	平塚市西真土1-10-1421-1	1 台
10	高座郡寒川町一之宮1-9-15	1 台			
合 計					72 台

(3) 法人所有車両

事業所	車両	事業所	車両
本部	1 台	キャロット工房	5 台
あいあいクラブ	3 台	ゆうゆうクラブ	3 台
モンキーポッド	2 台	からんころん	4 台
とむ郎	1 台	やなぎこんぶ	1 台
えぼっくハウス	9 台		
合計			29 台

(4) 什器備品・リース

No	リース契約	台数
1	はちろう君(成型機)	1
2	まぜろう君(攪拌機)	1
3	オフィス電話(子機含)	25
4	複合機	6
5	プリンター	1
6	ことぶきレジスター	2
7	サーバー	2
8	パソコン	24
9	給与・人事奉行(ソフトウェア)	1
10	おりこうブログ(ソフトウェア)	1
11	Miss.ヘルパー総合支援介護給 付費請求(ソフトウェア)	1
12	ヴォクシー(車両)	1
13	預り金管理システム(ソフトウェア)	1

No	主な備品資産	台数
1	SAORI織機	3
2	リヤカー	1

(5) 主なITソフト

No	種類	ソフト名
1	給与	OBC 給与奉行 給与計算ソフト
2	会計	TKC 会計ソフト
3	介護請求	真 障害者総合支援法対応 介護派遣コーディネイトシステム
4	介護請求	ミスヘルパー請求請求
5	管理	ミスヘルパー預り金管理システム
6	グループウェア(*)	サイボウズ
7	介護日報	メイプル日誌3
8	人事	OBC 人事奉行 人事管理ソフト
9	労務	OBC 就業奉行 勤怠管理システム

*組織内の情報共有のためのシステムソフト

8、 職員体制

令和4年3月末時点

	部長	課長	主任	リーダー	一般職	看護師	合計
常勤	2	5	3	3	21		34
嘱託				1	4		5
非常勤					70	2	72
アルバイト							0
合計	2	5	3	4	95	2	111

※組織図別紙1参照

9、 職員研修

研修名	開催日	内容
法人内研修	10月20日	障がい福祉の仕事について(現場での接遇)講師:東課長 /支援現場で大切なこと講師:野口課長
	11月17日	各事業所発表
	12月8日	障がい特性について(講師:本間太郎)

10、内部会議の開催

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹部会議	0	1	3	1	3	2	1	2	1	1	4	5
常勤全体会議	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0
会計会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
労務会議	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	3	2
Logical会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

11、職員の福利厚生

- (1) 健康診断費用の助成(常勤職員と社会保険加入の非常勤職員が対象)
- (2) インフルエンザ予防接種費用の助成
- (3) 新人歓迎会・職員親睦会等の費用の助成→コロナウイルス感染拡大防止の為中止

12、役員数

理事5名、監事2名

13、苦情処理

なし

14、総括

(1) 新型コロナウイルス感染症予防と対策

今年度に入り、前年度から4度目となる新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大に伴う緊急事態宣言が8月2日に発出され、期間は9月30日まで続いた。一昨年初めの頃の緊急事態宣言時とは異なり、保育園や学校が一斉休校になることもなく、全体的に今回は混乱なく利用者の受入を行うことができた。利用者の受入時は全事業所で引き続き、毎朝の検温、体調管理の徹底を行い、感染予防対策としてマスク着用、手洗い等の消毒の対策を講じていた。

年が明けてから、近隣の学校や他法人の事業所でも新型コロナ感染が流行り、2月に入ると当法人内でも次々と陽性者や濃厚接触者が発生。保健所の指導の元、指定された日数閉所したり、利用者や職員への連絡、事業所や送迎車内を消毒散布するなど対応に追われた。

次年度も引き続き、感染防止対策を徹底し、職員へ指導していく。

(2) 安定した運営の実現

①新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、今期も大人数での全体研修会や常勤会議を中止したため、職員同士の情報共有の場が少なかった。次年度は、少人数制で研修を行ったり、インターネット回線を利用したりリモート会議を取り入れながら、情報共有を強化していきたい。

②10月に最低賃金の大幅な改定があり、国の施策では次年度以降も賃上げが行われる見込みである。そのため、今後ますます、人件費の逼迫が予想される。今後の運営についての事業展開の見直しとともに、昇給についても顧問コンサルタントや社会保険労務士に助言をもらいながら次年度以降見直しを検討したい。

IT委員会

1、目的

法人規模が拡大したことにより、法人の管理体制の見直しが急務となっている。

IT環境整備の観点から職員のパソコン等のスキル向上を目指すとともに、職員間、事業所間の情報共有やファイル管理について、法人全体の管理統制システムの強化を目指す。

ITシステムを上手に活用して、請求システム、ファイル保管、ファイル管理の保守強化等、業務効率化を目指す。

2、重点課題

- ① パソコンを中心とした法人内のIT環境が円滑に機能するように必要な対応を行っていく。
- ② ITを活用することで出退勤管理等の業務の効率化を進めていく。

3、総括

コロナウイルス感染の影響もあり、委員会としての活動に制限が多く、今年度はあまり活動できなかった。来年度以降はパソコンを中心としたIT機器の運用は、新しく導入する勤怠管理システムについての取り組みが中心になると思われる。

安全委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、安全委員会において、労働者の危険防止に対する対策や労働災害の原因および再発防止対策で安全に係るものに関することについて十分な調査審議を行う。

2、重点課題

- ① 平塚・茅ヶ崎にAEDを各1台導入したものの、コロナ禍で救命救急講習の実施が延期となり設置ができていない。状況が変わり次第、講習会を実施し基礎知識を学び、設置していく。
- ② 地震による災害だけではなく、台風による水害の発生も想定し、より実際に近い状況を想定した訓練を実施する。防災備品についても必要なものを確保し万一に備える。
- ③ 災害時緊急メールシステムの運用について、災害時スムーズに活用できるように多様な活用方法を検討する。

3、総括

- ① コロナ禍の状況は改善せず、AED設置のための救命救急講習は未実施のままである。感染予防対策を講じた上で実施可能な研修方法を企画し、早急にAEDを有効に活用していきたい。
- ② 地震、火災訓練に関しては、それぞれ半年ごとに実施した。利用者の誘導や職員の動き、避難時の移動方法など、各事業所毎に課題が上がってきているが、今後も引き続き訓練を実施し、利用者・職員の防災意識を高めていきたい。
- ③ 災害時緊急メールシステムに関しては、各事業所の所属長が管理を行うことで、より現場での運用に即した形に改善されている。特に今年度はコロナ関係の情報共有に有効活用されており、引き続き現場での連絡手段として使用していく。
- ④ 防災備蓄品については、昨年までは年度末に集計や購入が集中しており、法人の繁忙期と重なり負担となっていた。実施時期の見直しを行ったが、集計作業が遅れてしまい、今年も年度末の業務となってしまった為、次年度の課題としたい。

安全委員会(車両)

1、目的

法人所有車両の増加に伴い、事業所毎に管理担当者を選任するとともに、安全に運行、運転を行うための研修・情報共有・啓発活動を行い、車両事故ゼロを目指す。

2、重点課題

- ① 各事業所の車両管理担当者と連携して車両の整備状況を確認し、各車両が安全に走行できる状態を維持できるよう努める。
- ② 車両内の感染症予防対策を徹底し、車両管理担当者や委員会メンバー、職員向けの研修等を企画する。
- ③ 月報に各事業所の車両の車検時期が記載されているが、必要に応じて個別に声掛けを実施し、漏れがないように働きかける。

3、総括

- ① 前年度と比較して車両の事故、ひやりはっとの件数は増加してしまった。特に走行中の接触事故が増えている。ドライブレコーダーも活用しながら委員会で事故の原因を確認し、啓発活動などを通じて安全な走行ができるよう働きかけていきたい。
- ② 各事業所ごとに、車両利用時の換気の実施や使用後の消毒などの感染症予防対策を行った。今後も車内の感染予防の徹底が必要である。職員向けの安全運転に関する研修等の実施はできなかった。状況を見ながら実施を検討していきたい。
- ③ 令和3年度は車検切れなどの重大な事故は発生しなかった。今後も車検などに漏れがないよう各事業所の車両担当者と連携をとっていきたい。

衛生委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、衛生委員会において、労働者の健康障害防止や健康促進のための対策について十分な調査審議を行う。

2、重点課題

- ① 新型コロナウイルス・インフルエンザ等、感染症流行に伴い衛生用品等の不足が考えられる。各事業所の在庫把握とともに衛生用品等の備蓄をする。
- ② インフルエンザ予防・感染症対策のポスター作製など、各事業所への啓発運動の実施。感染症対策マニュアルの作製及び周知。
- ③ 職員の生活習慣病対策を、健保協会と連携して行う。

3、総括

- ① 各担当が感染症対策啓発運動ポスター作成・配布を各事業へ行った。
- ② 生活習慣病対策を健保協会と連携し対象者には健康指導面談を実地した。
- ③ コロナ禍にて委員会がなかなか開催できずにいた中ではあったが各担当が衛生用品の確保や感染症対策啓発活動を行った。
- ④ 感染症対策マニュアル作成には至らなかったため、次年度の課題とし引き継いでいきたい。

広報委員会

1、目的

広報誌・WEBサイト等を最大限活用し、法人のPR効果の向上、賛助会員の拡大につなげる。

2、重点課題

- ① 法人や事業所の活動内容、取り組み内容が外部へ伝わるような紙面作り。
- ② ホームページの活動内容の更新。

3、総括

コロナ禍で各事業所外出の機会が減っており、トトム通信全3回発行のうち、1回目は事業報告と会計報告のみ、下半期に発行した2回は事業所内の活動の様子や近隣への散歩の様子等を掲載した。今年度は委員会の開催が少なく、メンバーとの連携が難しく一部の職員に偏った校正作業となりスケジュールが遅れてしまうこともあったがどうにか期日までに発行することが出来た。

ホームページについては、下半期にトップページの写真の変更と、職員紹介ページのリニューアルを行った。

研修・人権擁護委員会

1、目的

- ① 研修 法人内外の研修を通じて職員を育成して仕事に対する意欲を引き出し、事業を効果的、効率的に進め、継続できる法人基盤を作っていくためのサポートを行う。
- ② 人権擁護 障がい者虐待の現状や障がい者の置かれている社会的環境を知り、障害者虐待防止法の理念や権利擁護の仕組みについて考え、障がいのある人がその人らしい生活を送るためにはどのようなことが必要であるか、職員個々の意識高揚を図る取り組みを行う。

2、重点課題

- ① 法人職員一人ひとりが、人権擁護への高い意識を保つよう、人権擁護に関する研修を繰り返し計画したい。
- ② 日々の現場へのフィードバックできる、支援スキル、支援への心構え取得を目的とした研修を計画したい。
- ③ 法人職員としての自覚を持つことはもちろんのこと、一人の国民としての法令遵守、社会規範を身につける、最低基準の意識を確認する研修内容を計画したい。
- ④ 座学での研修ばかりでなく、職員同士のコミュニケーションを図る内容の企画を考えていきたい。

3、総括

今年度もコロナ感染が心配される中であったので、計画通りに研修を実施することができなかった。来年度はとりわけ、人権委員会設置義務関連の研修を軸に、障がい特性の研修、メンタルヘルス関係の研修を委員会メンバーで話し合い実施していきたい。コロナ感染緊急事態時期等には、オンライン形式による研修を来年度こそ取り組んでいきたいと考える。

本部総務部(平塚市西真土1-7-56)

1、目的

法人全体の運營業務が円滑に進むように環境整備する。

2、業務内容

労務業務 人事、給与他

管理業務 法人設備、修繕、契約書の管理、固定資産管理他

庶務業務 公的文書の作成・届出・法務関係手続き他

経理業務 会計処理、請求書の支払い業務、納税、補助金の申請他

管財業務 車両管理、リース管理、保険管理他

請求業務 未収金請求、障害福祉関係の請求他

本部業務 総会・理事会に係る業務、事務所申請他

3、職員体制

常勤職員4名(事業部長1名、総務部長1名、総務課長1名、一般職員1名)

非常勤職員3名

4、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
総務会議	毎月1回	日程などの情報確認、部内検討事項の審議

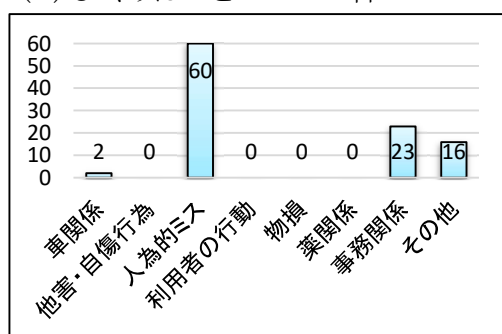
(2)外部研修

会議名	開催日	内容
webセミナー	3月4日	育児介護休業法改正について

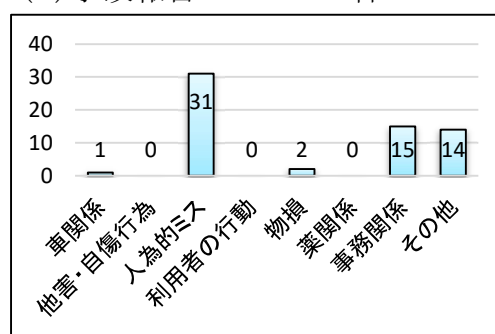
5、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情 0件

(2)ひやりはっと 101件



(3)事故報告 63件



6、重点課題と目標

(1) 事故報告とひやりはつと報告の実行

総務内において、事故報告とひやりはつと報告を適切に行い、事故を未然に防いでいく。

(2) 労務の情報管理業務の精度向上

人事管理ソフトの導入により、職員の労務情報をより具体的で細やかに管理することが可能となったことで、業務の正確性と処理スピードの向上を図る。

(3) 安定した運営の実現

①顧問社会保険労務士と連携し、労働条件の適正化や労務管理の改善など、事業の健全な発達を目指すとともに、雇用の安定、職場環境の改善、仕事と家庭の両立、職員の能力向上を図るため、雇用関係助成金を積極的に活用していく。

②専門的なコンサルタントの助言と指導を受けながら、改定後の賃金制度の適正な運用と人事評価制度の精度向上を目指す。

③顧問会計事務所の助言や指導・経営アドバイス等を受けながら、公正な事業活動の更なる展開を目指す。

④事業所単位の自立的運営を目指して必要な人材の確保に努めるとともに、中堅職員の育成を強化する。

⑤給与ソフトとの連動が可能な就業管理ソフトを導入し、多様化している職員の勤務形態に対応できる労務管理体制づくりを目指す。

(4) 請求事務

各事業所の請求事務担当者と連携し、月ごとの未収金管理が適切に行えるよう、引き続き管理を行う。また、収入においては経理との連携はもちろんのこと、入金管理を徹底し、事業所の担当者へ繋いでいく。

(5) リスク管理

問題が起きた時には、顧問社会保険労務士、弁護士との連携を図り、対処していく。

(6) 経費削減対策

消耗品等の削減はもとより、事務作業の効率化を法人全体で更に進めることによりコスト削減を図る。

(7) その他

各種規程・業務マニュアル等の整備、制定を進めて法人として組織統一を目指す。

7、総括

新型コロナウイルスは上半期に比べて下半期は感染が落ち着いた時期もあったが、年度末になって法人関係者で感染が相次ぎ、複数の事業所で何度か事業所閉鎖となったため、休業手当の支給やそれに対する助成金の申請手続き等の事務処理に手を取られた。

夏にIT導入補助金の支給が決定したので、かねてから計画していた勤怠管理システム一式を秋に導入し、ソフトの提供元からのリモート指導を受けながら事前の設定作業を進めたが、勤務体系が多岐に渡るため設定作業のボリュームが膨大で、年度内に作業を終了させることができず、システムの本稼働は翌年に持ち越しとなった。この設定作業は分担が出来ず一人作業のため、その他の事務処理のうち分担できることは分担して負担を分散させ、年度末の繁忙期をなんとか乗り切った。

茅ヶ崎支部

1、 内部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
茅ヶ崎支部常勤会議	7月6日	情報共有、課題検討
	9月8日	
	3月2日	中止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

2、 外部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
放課後ネットかながわ事務局会議	4月20日	令和3年度実施計画の検討、情報交換等
	5月18日	地域情勢の情報交換等
全国放課後連総会、研修会	6月6日	総会決議、制度改定研修
放課後ネットかながわ事務局会議	6月8日	地域情勢の情報交換等
	7月7日	
放課後ネットかながわ総会、研修	11月7日	放課後施策と取り巻く現状の意見交換研修
放課後ネットかながわ事務局会議	12月15日	国が考える障がい児の在り方検討について確認等

平塚支部

1、 内部会議・研修

なし

2、 外部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
湘南西地区施設長会	7月13日	地域情勢の意見交換等
	10月15日	次年度役員選出について
湘南東地区施設長会	12月1日	合同施設長会について
湘南西地区施設長会	12月21日	地域情勢の意見交換等
湘南東地区施設長会	1月19日	合同施設長会について
湘南東西地区合同施設長会	1月26日	地域情勢の意見交換等
	3月9日	虐待防止委員会設置義務化研修等
湘南西地区施設長会	3月25日	地域情勢の意見交換等

ゴロゴロクラブ(茅ヶ崎市赤羽根2165-2)

1、実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日・夏季休業日・年末年始休業日

(5)サービス提供時間…9:30～18:30

(6)定員…20名

4、事業収入

	年間(9月まで)
開所日数	136
件数	1,062
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	9,070

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者33名(男性17名、女性16名)

(2)年齢構成

15～30歳、平均年齢23.1歳(男性22.2歳、女性24歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	15	12	1	0	28			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	5	2	1	0	0	0	8	

6、職員体制

常勤職員1名、嘱託職員1名、非常勤職員7名、ドライバー2名

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月13日	日々の業務、利用者対応、支援の情報共有、検討など
	5月11日	
	6月8日	
	7月13日	
	9月14日	

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
市議との懇談会	5月28日	茅ヶ崎市日中一時支援の現状や課題について
事業所連絡会定例会	6月7日	事業所間の情報共有と課題検討
茅ヶ崎市障害福祉課との懇談会	9月29日	茅ヶ崎市日中一時支援の現状や課題について

(3)面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	7月9,16日	児童利用者のご家庭との情報共有
	8月 17,18,25,27 日	成人利用者のご家庭との情報共有
	9月6,15日	

(4)研修・説明会

研修名	開催日	内容
初任者研修	4月3,10日	事業所紹介・テーマに沿った研修

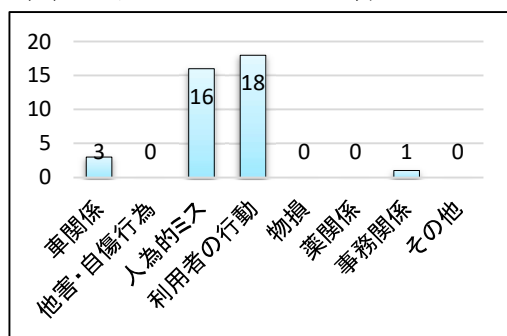
8、行事

行事名	開催日	内容
移転説明会	5月14,15日	日中一時支援事業所の移転説明と質疑応答
移転説明会(個別)	5月 21,25,29日	
	6月1日	
避難訓練	6月21日	地震を想定した避難訓練
スタンプラリー	8月16～31 日	室内での手作りスタンプラリー

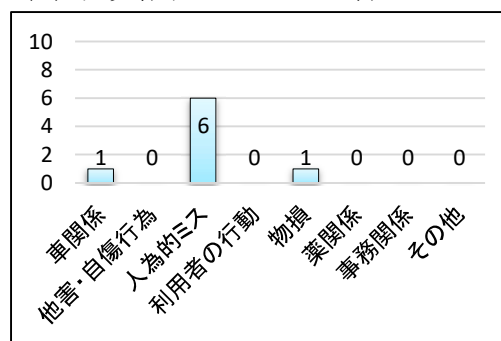
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 38 件



(3) 事故報告 8 件



10、重点課題

- ① 在校生利用者は少なく、成人利用者は現状維持または利用増加傾向にある。開所日数、時間等に関しては検討しながら需要に応じていく必要がある。
- ② 常勤職員配置により職員不足傾向を解消すべきである。非常勤職員はさらに移転の場合は減少する見込みであるので体制を整えていくべき状況である。
- ③ 職員のスキル、支援力の向上を維持すべく情報共有の充実を図らなければならない。

11、目標

- ① 一日平均、7.9名の利用受け入れを目指す。
- ② 地域における利用ニーズの現状把握に努め、事業所連絡会、他事業所との連携を強化し日中一時支援事業の現状改善を行政にも働きかける。
- ③ より支援が必要な利用者へのサービスが充実するよう、職員配置の安定と充実を図る。

12、総括

- ① 一日平均の利用件数はほぼ達成できていた。
- ② 感染防止の観点から事業所連絡会は定例会の開催等にやや滞りがあったが、日中一時支援事業所グループでの協議が進み市議会への現状説明や茅ヶ崎市障害福祉課との懇談会等が実施された。今後の報酬改善につなげる事ができた。
- ③ 9月までは赤羽根拠点での活動が継続され、職員配置もやや安定し支援が充実していた。

あいあいクラブ(茅ヶ崎市萩園1602 2階)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう、必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に小学生)

(3)開所日…月～土

(4)定休日…(日曜日・祝日・夏季休業日・年末年始休業日)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00 土曜日・長期学校休業日/9:30～16:30

(6)定員…10名

4、事業収入

	年間
開所日数	280
件数	2,634
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	28,956

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者26名(男性18名、女性8名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	1	2	0	1	2	2	8
女性	0	1	1	0	0	0	2
計	1	3	1	1	2	2	10

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	4	3	0	1	2	0	10
女性	1	0	1	2	0	2	6
計	5	3	1	3	2	2	16

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	15	10	1	0	26		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	1	3	0	0	1	0	5

6、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名(他兼務)、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員1名)

非常勤職員7名

(保育士1名、児童指導員4名(他兼務含)、ドライバー2名(他兼務含))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
定例会議	4月16日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	5月14日	
個別支援検討会議	5月31日	利用者の情報共有、個別支援計画、支援内容の検討
定例会議	6月11日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
個別支援検討会議	6月3,7,8,9,11日	利用者の情報共有、個別支援計画、支援内容の検討
定例会議	7月9日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	9月10日	
	10月15日	
	11月12日	
	12月17日	
	1月14日	
	2月18日	中止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
3月16日		

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会運営会議	5月7日	令和3年度の活動内容について
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	6月4,7日	令和3年度の活動内容についての意見交換、令和4年度に向けた体制の見直し
利用者のケースカンファレンス	6月22日	弘済学園にて利用者のケースカンファレンス
	12月9日	
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会(全体)	12月14日	各事業所からの報告、市役所障害福祉課からのお知らせ
自立支援協議会代表者会議	2月10日	中止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会(全体)	2月15日	次年度に向けてのグループ分け等

(3) 面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	4月 12,14,15,19 ,22,23,26,2 7,28,30日	家庭、学校、放課後における利用者の様子につ いて
	5月 10,11,24,26 日	
	6月 7,9,14,21,2 5日	
	7月2,5,12 日	
	8月24,25日	
	9月 13,14,15,21 ,27,28日	
	10月 18,22,25,28 ,29日	
	11月 15,22,29日	
	12月 10,14,16,20 ,22,27日	
	1月20,25日	
	2月15,19日	
	3月24日	

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
サービス管理責任者基礎研 修	8月4日	事前eラーニングと事前課題を基に演習研修
自閉症療育者のためのト レーニングセミナー	9月18,19日	Web研修
安全運転講習	11月22日	技能講習、適性検査
サービス管理責任者基礎研 修	1月18日	講習、実践課題
行動援護従事者研修	2月17,24日	行動援護について理解と基礎、連携について
	3月3,10日	行動援護の技術について、事例分析(グループ ワーク)、まとめ

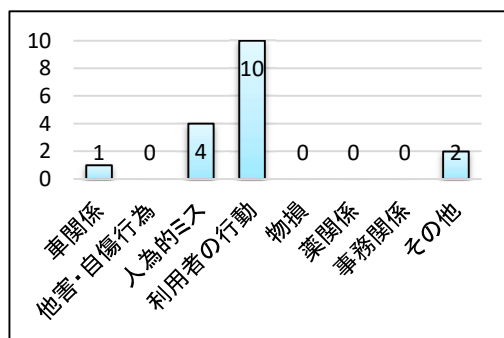
8、行事

行事名	開催日	内容
避難訓練	6月28日	地震を想定した避難訓練
	12月10日	消防署への火災通報・避難訓練

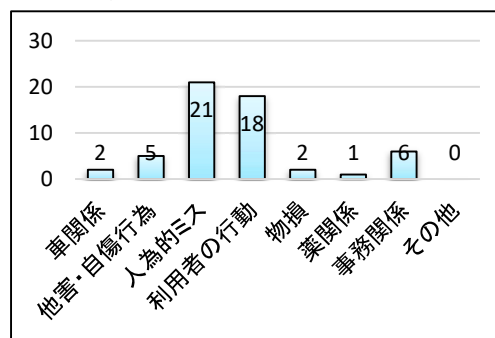
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 17 件



(3) 事故報告 55 件



10、重点課題

- ① 思春期にさしかかり当事者の自我主張が強くなってきた際、ご家庭における支援に難しさを感じている保護者が増えてきたにもかかわらず、セルフプランで支援計画をしている保護者は、どこに相談すべきか分からなくなっている状況が見られること。
- ② 新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら、安定した放課後支援の体制を持続すること。
- ③ 職員における個別支援計画の理解を深めること。また、個別支援計画改定の際も変更内容が漏れなく伝わるようにすること。

11、目標

- ① 面談等による情報共有や保護者の困りごとに助言や取り組みの提案を行うことで、障がい特性の理解についての浸透を図っていく。
- ② 感染症対策を継続しつつ、業務内容見直しや業務量の配分を調整し、安定した運営を行う。
- ③ 職員が個別支援計画を基本とした支援や本人の様子に合わせた柔軟な対応が出来るようになる。

12、総括

地域的な感染拡大があったにもかかわらず、事業所内感染が広がらず済んだ点は良かった。ただし、感染症対策を行いながら支援を継続していくという状況には「感染防止策」と「支援の質の維持」の両立の難しさを実感させられた一年であった。また、保護者面談で保護者からの声が多かった内容は、コロナ感染症対応が始まって2年となるが「希望する障がい福祉サービスの利用が滞っている」「新しいサービス利用に見通しが立たない」等であり、保護者の取り組みに停滞が起きている状況が見られた。当事業所に限らず感染対策と支援の両立は地域全体での課題になっていると強く感じた。

からんころん(茅ヶ崎市萩園2336-2)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…10名

4、事業収入

	年間
開所日数	253
件数	2,661
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	41,096
補助金事業収入(単位:千円) (障がい者地域サポート事業)	1,859
就労支援事業収入(単位:千円)	9

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者14名(男性9名、女性5名)

(2)年齢構成

19～47歳、平均年齢25.6歳(男性27.4歳、女性22.2歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	13	1	0	0	14			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	1	1	0	0	1	1	4	

(4) 男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	0	7	2	9
女性	0	0	0	1	2	2	5
計	0	0	0	1	9	4	14

6、職員体制

常勤職員5名

(管理者1名、生活支援員4名)

嘱託職員2名

(サービス管理責任者、生活支援員(他兼務))

非常勤職員13名

(看護師1名、生活支援員12(他兼務含)、ドライバー4名(他兼務含))

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月19日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	5月17日	
	6月21日	
	7月19日	
	8月16日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	9月27日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	10月18日	
	11月15日	
	12月20日	
	1月17日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	2月21日	
3月18日	新規利用者について情報共有	

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
ケース会議	2月17,22日	支援内容見直し、検討

なし

(3) 面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	12月7,17日	ご本人の支援検討・情報共有
	3月1～24日	通所個別支援計画検討・見直し

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
安全運転講習	11月5,12日	技能講習、適性検査
サービス管理責任者補足研修	11月6,9,10日	サビ管補足研修

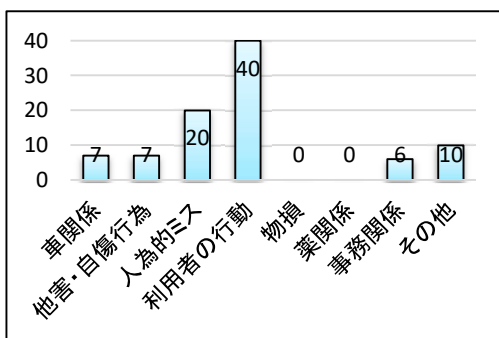
8、行事

行事名	開催日	内容
おやつ外出	4月2,16日	外出先でおやつを楽しむ(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ドライブスルーやスーパーで購入して食べる。)
	5月7,21日	
避難訓練	6月22日	地震を想定した避難訓練
おやつ外出	7月2,16日	外出先でおやつを楽しむ(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ドライブスルーやスーパーで購入して食べる。)
	8月6,20日	
	9月3,17日	
	10月1,15日	
	11月5,19日	
12月3,17日		
成人を祝う会	1月6日	成人を迎える利用者のお祝い
節分	2月3日	節分にちなんでゲーム大会
ひなまつり	3月3日	ひな祭りにちなんだ作品の創作、写真撮影

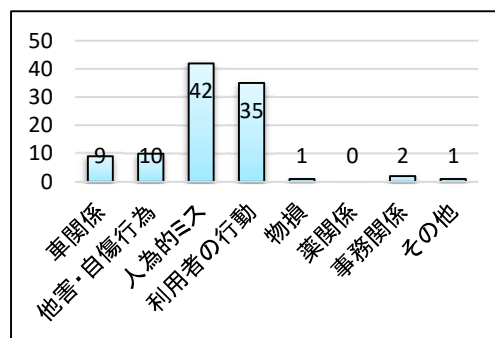
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 90 件



(3) 事故報告 100 件



10、重点課題

- ① 職員同士の連携・スキルアップを図るため、外部研修へ参加して情報共有を行い支援方法を充実させる。
- ② 活動内容を充実させるため日々の活動・年間予定・個別支援の内容を再検討する。
- ③ 他事業所等と連携しながら利用者数を増やす。

11、目標

- ① 各関係機関からの情報をもとに、職員が外部研修に積極的に参加できるようにする。
- ② 利用者の障がい特性を理解した作業内容を検討し、個別支援計画をもとに個々又は集団で行う作業工程を確立していく。
- ③ 職員配置を充実させ新規利用者受け入れを積極的に行う。

12、総括

コロナウイルス感染対策をしながらの事業運営は見通しが立てづらく職員・利用者への負担が大きかった。

マスク着用・手洗い・体調管理・換気等の感染対策を継続し、日々職員・利用者・ご家族の協力を得ながら開所できた。

利用者の不調が続いた為、各関係機関と連携をしながら支援方法を検討した。

行事等の企画も縮小しながら行った。

活動も小グループに分けて行い、近隣への散歩の機会を増やし、密を避けての体力作りに力を入れた。個別支援検討会議を通し、利用者一人ひとりの障がい特性を考慮して活動内容の検討を随時行った。

とむ郎(茅ヶ崎市香川4-21-12)

1、実施事業

共同生活援助

2、目的

障害者総合支援法に規定される共同生活援助事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、食事及び排泄等の介助、風呂介助、余暇支援、相談、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)定員…6名

4、事業収入

※家賃補助は含んでいません

	年間
開所日数	363
件数	1,878
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	22,878

5、利用者構成

(1)利用者数

定員6名、契約者6名(男性6名、女性0名)

(2)年齢構成

26歳～47歳、平均年齢33.7歳(男性33.7歳、女性-歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	4	2	0	0	6		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	0	1	0	0	1	0	2

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	2	3	6
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	2	3	6

6、職員体制

常勤職員2名

(管理者1名、サービス管理責任者)

嘱託職員2名

(生活支援員(他兼務含))

非常勤職員13名

(生活支援員7名(他兼務含)、世話人6名(他兼務含))

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月27日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	5月26日	
常勤会議	5月26日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
個別支援検討会議	6月24日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	6月24日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
個別支援検討会議	7月26日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	7月26日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
個別支援検討会議	8月25日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	8月25日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
個別支援検討会議	9月28日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	9月28日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
個別支援検討会議	10月28日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	10月28日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
個別支援検討会議	11月26日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	11月26日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
個別支援検討会議	12月23日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	12月23日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
個別支援検討会議	1月24日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	1月24日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
個別支援検討会議	2月22日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
常勤会議	2月22日	支援内容及び連絡事項などの情報共有
個別支援検討会議	3月23日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	3月23日	支援内容及び連絡事項などの情報共有

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
ケース会議	2月14日	利用者ケース会議

(3)面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	5月24日	利用者の様子について
職員面談	3月1,15日	嘱託職員面談
後見人面談	3月29日	後見人面談

(4)研修・説明会

研修名	開催日	内容
システムレクチャー	5月18日	預り金管理についてのシステムの操作方法について
強度行動障害支援者養成研修	10月8,9日	強度行動障害について学ぶ
安全運転講習	11月12日	技能講習、適性検査
防火管理講習会	11月29,30日	防火管理の意義及び制度について

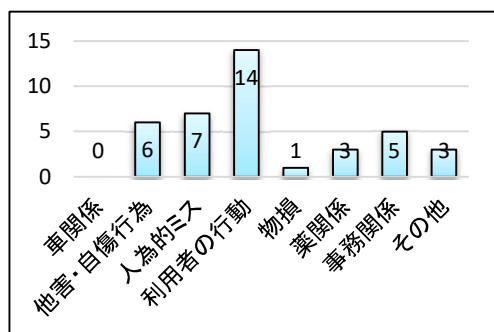
8、行事

行事名	開催日	内容
避難訓練	6月15日	地震を想定した避難訓練
整理整頓	6月28日	書類等の整理
誕生日会	5月27日	利用者の誕生日会
	7月6日	
	8月3日	
	10月18日	
	11月10,24日	
大掃除	12月4日	大掃除
避難訓練	12月7日	消防署への火災通報・避難訓練
見学	1月21日	とむ郎施設見学

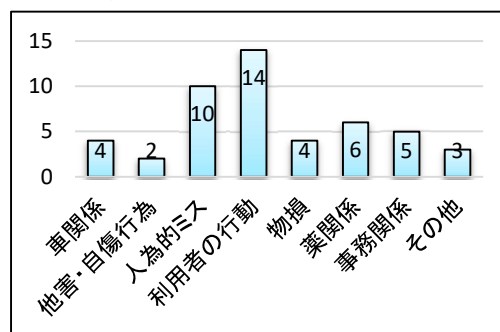
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 39 件



(3) 事故報告 48 件



10、重点課題

- ① 利用者の個々の特徴、障がい特性の理解を深めて具体的な支援に反映できるよう職員の支援スキルの獲得および向上。
- ② 利用者、職員がともに安全に日々のホームで活動出来るよう感染症対策を含めた環境面の整備、支援体制の確保。
- ③ 関係事業所との連携、および近隣住民との良好な関係を保つ。

11、目標

- ① 充実した日々の生活を送れるように、利用者の意思を尊重しながら、支援計画に基づいて支援を行う。
- ② 職員間および利用者家族、関係事業所との連携や情報共有をしっかりと行うことで事故やトラブルが起きないようにする。
- ③ 感染症対策を徹底して衛生的な状態を保ち、安全に安心して過ごせる生活環境の確保に努める。

12、総括

コロナウイルスに関しては、幸いホーム内での感染者はなかったが、通所先が休みになったり、職員や利用者に関係の近いところで感染があったりした。このことで利用者は大きく体調を崩される方はいなかったものの、行動面に関しては波があつて、日中、通常通りに通所できない日が数日間続いたことで、利用者にとってのペースが崩れてしまい、それがストレスとなって調子を崩してしまう方がいた。

また、職員体制については、体調を崩して勤務の継続が難しくなった人が出たため、シフト調整が厳しい時期があつた。コロナ禍の状況は未だ収束しておらず、グループホームは感染が広がりやすい条件がそろっている事業所なので、取り組むべき課題は多い。

モンキーポッド(茅ヶ崎市萩園1602 1階)

1、実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:30 土曜日/9:30～16:00

(6)定員…16名

4、事業収入

	年間
開所日数	203
件数	1,260
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	10,433

5、利用者構成

(1)利用者数

定員16名、契約者30名(男性16名、女性14名)

(2)年齢構成

15歳～31歳、平均年齢23.4歳(男性22.6歳、女性24.2歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	19	6	0	0	25		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	6	1	1	0	1	1	10

6、職員体制

嘱託職員2名、非常勤職員3名

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月19日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	5月17日	情報共有 支援内容の検討
	6月21日	日々の業務の課題検討 ひやりはっと・事故報告の振り返り
	7月19日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	8月16日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	9月27日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	9月27日	
	10月13日	
業務分担ミーティング	10月27日	業務の分担等について
個別支援検討会議	11月8日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	12月13日	
	1月7日	
	2月9日	中止
	3月7日	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市・寒川町障害児者通所事業所連絡会	10月25日	日中一時支援事業所間の情報共有
	12月14日	
	2月15日	

(3)面談

面談名	開催日	内容
利用者面談(成人)	11月24日	家庭との情報共有
利用者面談(児童)	12月20日	
	1月17日	

(4)研修・説明会

研修名	開催日	内容
安全運転講習	11月22日	技能講習、適性検査

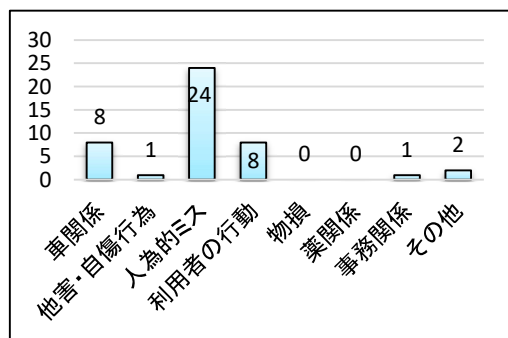
8、行事

行事名	開催日	内容
避難訓練	12月6日	消防署への火災通報・避難訓練
クリスマス会	12月20日	クリスマスのケーキ作りとプレゼント提供
節分豆まき	2月2,3日	節分の豆まきを皆で行う
卒業を祝う会	3月22日	卒業を祝い、色紙等の贈呈を行う

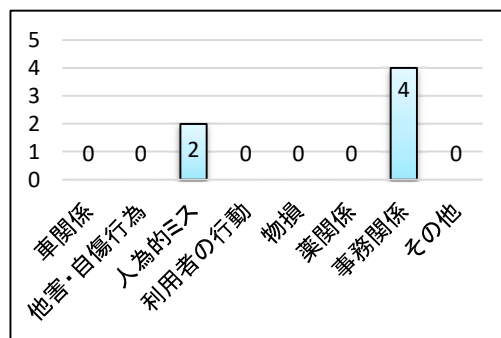
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 44 件



(3) 事故報告 6 件



10、重点課題

- ① ニーズはあるが、職員配置が厳しい。通所先へのお迎え又は通所先からの送迎など利用者の移動手段の多様化により、地域の事業所との連携が大事である。また、夕方18時半までの開所で職員退勤が19時を過ぎる為、その時間帯に勤務可能な職員がいない。
- ② 日中活動後の夕方の支援の為、利用者がリラックスして過ごせるような雰囲気づくり。

11、目標

- ① 遅い時間帯でも勤務できる職員を配置する。
- ② リラックスできる空間づくり。
- ③ 他事業所との連携を密にする。

12、総括

年度の途中で支援場所の引っ越しがあった為、利用者の混乱があると懸念していたが、利用者・職員とも比較的混乱なく過ごすことが出来た。

10月からの支援では、新しい場所・職員に慣れることから始めており、利用者の新しい場所での過ごし方も少しずつ定着してきているが、以前と比べ部屋の配置が異なるため、利用者同士の相性や、職員の動線なども加味した上で支援していく必要があると感じた。

ぶんぶん(平塚市南原2-4-5マインズビル1階)

1、実施事業

居宅介護・重度訪問介護・平塚市移動支援・パーソナルサービス(自費契約)

2、目的

個別の支援を通して、障がいのあるご本人および家族が、地域社会において、より良い生活が送れることを目的とする。

3、事業内容

直接支援～身体介護(食事、排泄、移乗、入浴等)、家事援助、移動支援、等

4、事業収入

(1)居宅介護

	年間
サービス提供時間数	7
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	34

(2)重度訪問介護

	年間
サービス提供時間数	67
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	228

(3)移動支援

	年間
サービス提供時間数	1,515
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	3,757

(4)パーソナルサービス(自由契約)

	年間
サービス提供時間数	0
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	0

5、利用者構成

定員:なし/契約者:44名(男性32名、女性12名)

6、職員体制

常勤職員2名(他兼務含)、非常勤職員9名(他兼務含)、派遣職員1名(他兼務含)

7、 会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月19日	情報共有 支援内容の検討 意見交換
	5月17日	
	6月21日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	7月12日	情報共有 支援内容の検討 意見交換
	7月30日	
	9月24日	
	9月28日	
	10月4日	
	10月18日	
	11月15日	
	12月20日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	1月17日	
	2月21日	情報共有 支援内容の検討 意見交換
	3月 25,28,29,30 ,31日	

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
利用者ケース会議	5月26日	情報共有、今後の移動支援について確認

(3)面談

面談名	開催日	内容
職員面談	6月1日	今後の移動支援について決定事項等の共有
	6月3日	
	3月8,10,11日	現状の確認と来年度に向けて

(4)研修・説明会

研修名	開催日	内容
重症心身障がい児者の生活をまず知って下さい	5月31日	障がい児者のライフステージからみる支援の現況と課題
人権擁護研修(公開講座)	7月12日	支援の質の向上と組織マネジメントについて考える

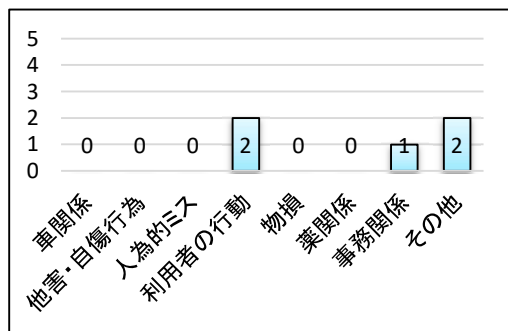
8、 行事

なし

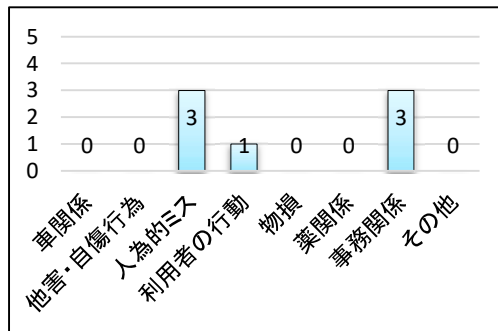
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 5 件



(3) 事故報告 7 件



10、 重点課題

- ① 職員に注意力不足が認められ、事故や忘れ物につながっている。
- ② 新規利用や緊急利用の希望に応えられていない。
- ③ 事務のダブルチェック体制がなく、請求業務にミスが出ている。

11、 目標

- ① 支援検討会議等を通して支援について話し合うだけでなく、体制を工夫することで、事故を防ぐ環境を整えていく。
- ② 人員の確保。
- ③ ダブルチェック体制を構築する。

12、 総括

特定の利用者に関する事故報告が多く、確認事項漏れによる要因も見受けられた。日々のスケジュールの事前確認、連絡情報やチェック表の活用等が不足していた。ダブルチェック体制の構築は急務である。

えぼハウ(平塚市御殿1-33-21)

1、実施事業

平塚市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…平塚市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:00 土曜日/9:00～17:00

4、事業収入

	年間
開所日数	298
件数	1,593
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	11,223

5、利用者構成

(1)利用者数

定員なし/契約者22名(男性14名、女性8名)

(2)年齢構成

16～33歳、平均年齢25.9歳(男性25.1歳、女性27.1歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	12	10	0	0	22		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	1	3	2	1	1	0	8

6、職員体制

常勤職員2名(他兼務含)、非常勤職員9名(他兼務含)、派遣職員1名(他兼務含)

7、 会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月19日	情報共有 支援内容の検討 意見交換
	5月17日	
	6月21日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	7月12日	情報共有 支援内容の検討 意見交換
	7月30日	
	9月24日	
	9月28日	
10月4日		
ケース会議	10月5日	支援内容の検討
個別支援検討会議	10月18日	情報共有 支援内容の検討 意見交換
	11月15日	
	12月20日	
	1月17日	
	1月25日	ケース会議
	2月21日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	3月 25,28,29,30 ,31日	情報共有 支援内容の検討 意見交換

(2)外部会議

なし

(3)面談

面談名	開催日	内容
職員面談	6月1日	今後の移動支援について決定事項等の共有
	6月3日	
	3月8,10,11日	現状の確認と来年度に向けて

(4)研修・説明会

研修名	開催日	内容
重症心身障がい児者の生活をまず知って下さい	5月31日	障がい児者のライフステージからみる支援の現況と課題
人権擁護研修(公開講座)	7月12日	支援の質の向上と組織マネジメントについて考える

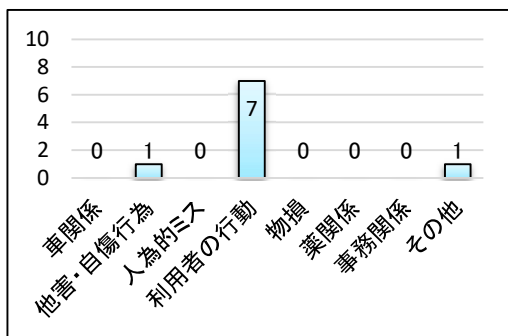
8、 行事

行事名	開催日	内容
避難訓練	6月17日	地震を想定した避難訓練
	12月6日	消防署への火災通報・避難訓練

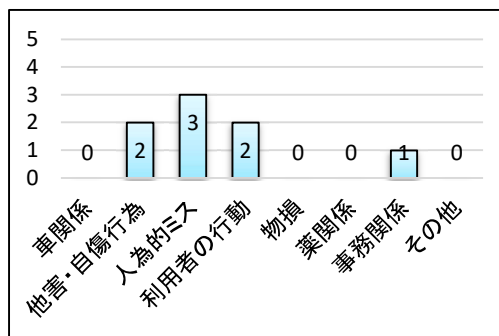
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 9 件



(3) 事故報告 8 件



10、重点課題

- ① 職員に注意力不足が認められ、事故や忘れ物につながっている。
- ② 職員数が足りない日がある。
- ③ 事務のダブルチェック体制がなく、請求業務にミスが出ている。

11、目標

- ① 支援検討会議等を通して支援について話し合うだけでなく、体制を工夫することで、事故を防ぐ環境を整えていく。
- ② 人員体制の工夫。
- ③ ダブルチェック体制を構築する。

12、総括

特定利用者に関する事故報告が多く確認され、職員の配慮不足などで忘れ物や事故に繋がった。ミーティング等で傾向対策を共有しながら、利用者と職員との配置を考慮して役割、時間配分を工夫する必要があった。

ゆうゆうクラブ(平塚市御殿1-7-6)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう、必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、おやつ作り、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才未満で市町村より支給決定を受けた方(主に中・高生)

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00 土曜日・長期学校休業日/9:30～18:00

(6)定員…10名

4、事業収入

	年間
開所日数	288
件数	2,444
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	25,889
補助金事業収入(単位:千円) (障がい者地域サポート事業)	1,608

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者31名(男性18名、女性13名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	0	0	0	0	0	0	0
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	3	2	4	6	2	1	18
女性	4	1	2	2	1	3	13
計	7	3	6	8	3	4	31

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	11	15	4	1	31			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	2	3	1	0	1	0	7	

6、職員体制

常勤職員5名

(管理者1名、サービス管理責任者1名、児童指導員1名、指導員1名(他兼務含))

非常勤職員10名

(児童指導員5名(他兼務含)、指導員4名(他兼務含)、ドライバー1名(他兼務))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月13日	昨年度の振り返り 新規利用者について ひやりはっと・事故報告の振り返り
	5月18日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	6月15日	面談報告 新規利用者について
	7月13日	夏休みの行事について
	9月14日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	10月19日	ケース検討 面談報告 新規利用者のモニタリング
	11月9日	ケース検討 情報の共有
	12月14日	連絡事項
	2月8日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(2)外部会議

なし

(3)面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	5月 11,24,26,27 日	個別支援計画について
	5月 7,10,12,17, 20日	
	6月 3,9,10,11,1 7,18,23,28 日	

面談名	開催日	内容
利用者面談	6月 2,7,8,14,22 日	個別支援計画について
	7月6,12日	
	10月 6,7,12,21,2 7,28日	
	10月5,7,11 ,13,14,20,2 1,29日	
	11月8～30 日	
	12月3～6 日	

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
相談支援従事者プレ研修	7月1,2日	相談支援従事者初任者研修のプレ研修
相談支援従事者初任者研修	7月12～30 日	相談支援従事者初任者研修
サービス管理責任者等基礎 研修	8月1～31 日	サービス管理責任者等基礎研修講義
	8月31日	事前のeラーニングと事前課題を基に演習研修
相談支援従事者初任者研 修	9月2,3日	相談支援従事者初任者研修
	9月30日	
	10月25,26 日	
安全運転講習	11月15日	技能講習、適性検査
サービス管理責任者補足研 修	11月16日	サビ管補足研修

8、行事

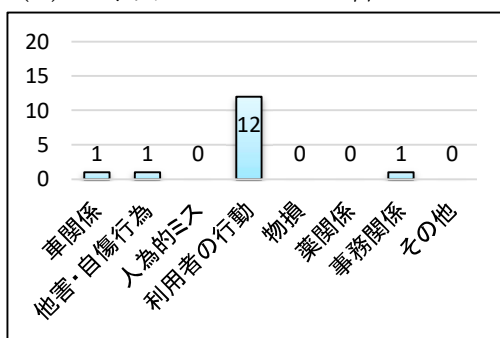
行事名	開催日	内容
誕生日会	4月22日	利用者の誕生日を祝う
	4月23日	
	4月24日	
	5月24日	
	6月23日	
	6月25日	
避難訓練	6月30日	地震を想定した避難訓練
七夕	7月1日～7 日	七夕(短冊)飾り
誕生日会	7月28日	利用者の誕生日を祝う
	7月29日	
	8月27日	

行事名	開催日	内容
お楽しみ会	8月10日	ゲーム、かき氷、ポップコーン
	8月11日	
ピクニック	8月23日	戸川公園へピクニック
誕生日会	9月22日	利用者の誕生日を祝う
	10月27日	
ハロウィンパーティー	10月28日	仮装、音楽、おやつ作り
	10月29日	
誕生日会	11月26日	利用者の誕生日を祝う
訓練	11月29日	消防署への火災通報・避難訓練
誕生日会	11月30日	利用者の誕生日を祝う
クリスマス会	12月23日	ケーキやプレゼントでクリスマスを祝う
	12月24日	
節分	2月3日	豆まきなどを行う季節行事
誕生日会	2月22日	利用者の誕生日を祝う
	2月24日	
卒業生を送る会	3月30日	ケーキを食べ、メッセージやお花を渡して卒業を祝う
	3月31日	

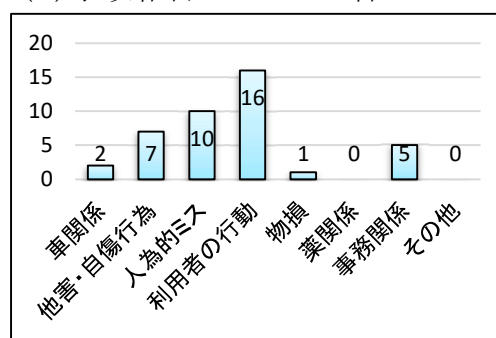
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 15 件



(3) 事故報告 41 件



10、重点課題

- ① 人材の育成と人員の確保。研修の参加などによる職員のスキルアップや効率的な人員配置により、利用者が安心して楽しめる支援サービスを提供する。
- ② 感染症対策の徹底。利用者にはマスクの着用や消毒を促し、保護者や学校と情報を共有して体調の把握に努める。事業所内では清掃、換気、湿度の管理などを充分に行う。
- ③ 職場環境の充実。事業所内の設備を整え整理整頓を心掛けることで、職員が働きやすい職場環境を作る。

11、目標

- ① 職員の支援力の向上や他事業所との差別化を図ることで、新規利用者の獲得につなげていく。
- ② 感染症の影響で制限される中でも、多くの利用者が楽しんで参加できる活動を模索し、実施していく。
- ③ 支援検討会議や日々のミーティングにて利用者情報の共有化を図り、個別支援計画に沿った支援を行う。

12、総括

- ① 新規利用者の獲得に関しては、次年度からの利用者を中心に見学者の受け入れを積極的に行ってきた。現在の利用者からも利用日数を増やす希望もあり、今年度の卒業生以上の利用が見込まれている。利用者が希望している曜日に偏りがあるものの、次年度に向けて概ね十分な利用者の確保が出来た。
- ② 感染予防の観点から、活動内容に関しては時間や場所を分けて実施できる個別のものを中心に行った。次年度も引き続きコロナ禍での事業所運営が見込まれる為、同様の対策を取りながら利用者が楽しんで参加できる活動を実施していく。
- ③ 支援検討会議に関しては、感染対策の為ほぼ半分以上が中止となったが、現場での打ち合わせや支援中の情報共有を中心に利用者情報の共有化を図った。

えぼっくハウス(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、事業収入

	年間
開所日数	253
件数	5,259
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	81,834
補助金事業収入(単位:千円) (障がい者地域サポート事業)	4,358
就労支援事業収入(単位:千円)	476

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者30名(男性19名、女性11名)

(2)年齢構成

19歳～37歳、平均年齢28.2歳(男性28.5歳、女性27.7歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	24	6	0	0	30		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	3	4	1	4	0	0	12

(4) 男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	5	5	9	19
女性	0	0	0	2	4	5	11
計	0	0	0	7	9	14	30

6、職員体制

常勤職員8名

(管理者1名、サービス管理責任者、生活支援員5名(他兼務含))

非常勤職員13名

(看護師2名(他兼務含)、生活支援員14名(他兼務含)、ドライバー2名(他兼務含))

派遣職員3名

(ドライバー3名)

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月28日	支援検討、情報交換
	5月26日	
	6月23日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	7月28日	
	8月25日	
	9月22日	支援検討、情報交換
	10月27日	
	11月24日	
	12月22日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	1月26日	
	2月23日	
	3月23日	

(2) 外部会議

なし

(3) 面談

面談名	開催日	内容
内田クリニック面談	4月9日	新型コロナウイルス予防接種相談
	5月14日	
	7月9日	
新規利用者面談	2月15日	利用説明

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
アンガーマネジメント	7月21日	対人援助を長く続けるために
安全運転講習	11月 5,12,15,19 日	技能講習、適性検査

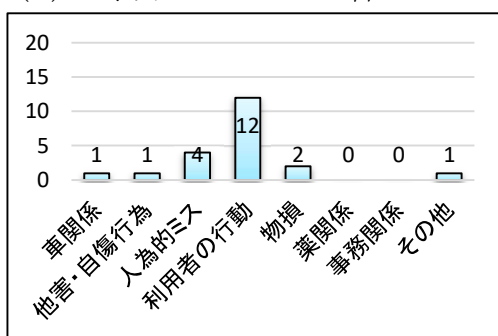
8、行事

行事名	開催日	内容
避難訓練	6月25日	地震を想定した避難訓練
福祉見学会	6月15,29日	えぼっくハウスの見学
湘南養護学校アフターフォロー訪問	8月23日	新卒者の様子確認
湘南養護学校2年生実習オリエンテーション	10月14日	自己紹介、実習説明
湘南養護学校2年生実習	10月25,26日	活動への参加
利用希望者見学	7月10日	施設見学、えぼっくハウス概要説明
避難訓練	12月6日	消防署への火災通報・避難訓練
実習	12月13～17日	湘南養護学校2年生現場実習(作業・活動参加)
初詣	1月10～14日	寒川神社、前鳥神社、平塚八幡宮他
新規弁当業者試食会	3月2,4日	契約内容の説明、試食

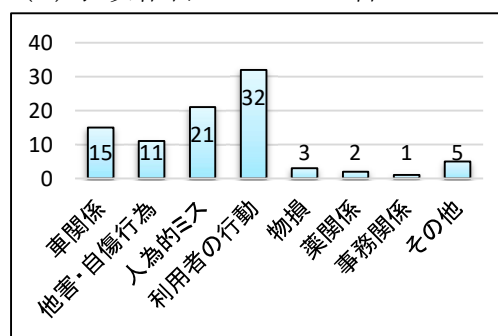
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 21 件



(3) 事故報告 90 件



10、重点課題

- ① コロナウイルス感染対策
感染疑い、感染時の対応。
- ② 安全な活動の実施
コロナ禍(3密)を意識しての環境整備、活動、イベントの実施。
- ③ 個別支援計画・アセスメントシートの充実と情報の共有。

11、目標

- ① コロナウイルス感染者ゼロ。
- ② コロナ禍における、安全、安心な活動の実施。
- ③ 会議の定期開催(オンライン会議の検討)にて情報共有し、個別支援計画に生かしていく。

12、総括

- ① 目標とする『コロナウイルス感染者ゼロ』を達成することができず、利用者、職員共に感染者が出てしまった。感染者の体調については重症化することはなかったが、事業所は保健所指導の下、計3日間の閉鎖となった。
- ② コロナ禍で他法人の短期入所施設が閉鎖になったことで、えぽっくハウスの利用が増え、1日利用平均件数は維持できた。
- ③ コロナ禍の為、研修の中止が相次ぎ、参加はできていない。
- ④ 安全を最優先に活動し、感染予防、3密を避けながらの活動となり、できる限り車両を使用しない活動を心がけ、ガソリン代の節約、運転手の負担軽減、地域との関わりにつながった。
- ⑤ コロナ感染状況により、月1回の会議を中止にせざるを得ない月もあったが、活動終了後にはできる限り常勤職員を中心に一日の振り返りを実施した。必要に応じて個別にも聞き取りを実施して情報共有をすることができた。

やなぎこんぶ(平塚市中原2-6-63)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

- (1)サービス提供地域…平塚市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
- (6)定員…20名

4、事業収入

	年間
開所日数	253
件数	875
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	22,082
補助金事業収入(単位:千円) (障がい者地域サポート事業)	2,457

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者8名(男性6名、女性2名)

(2)年齢構成

21歳～31歳、平均年齢26.6歳(男性26.8歳、女性26歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	5	3	0	0	8			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	0	0	0	0	0	0	

(4) 男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	2	3	6
女性	0	0	0	1	1	0	2
計	0	0	0	2	3	3	8

6、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名(他兼務)、サービス管理責任者1名、生活支援員1名)

非常勤職員7名

(看護師2名(他兼務含)、生活支援員5名(他兼務含))

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月28日	支援検討、情報交換
	5月26日	
	6月23日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	7月28日	
	8月25日	
	9月22日	支援検討、情報交換
	10月27日	
	11月24日	
	12月22日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	1月26日	
	2月23日	
	3月23日	

(2) 外部会議

なし

(3) 面談

面談名	開催日	内容
内田クリニック面談	4月9日	新型コロナウイルス予防接種相談
	5月14日	
	7月9日	

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
サービス管理責任者初任者研修	12月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者の役割 ・社会福祉制度

8、行事

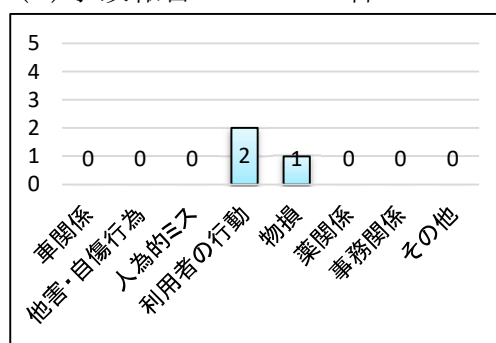
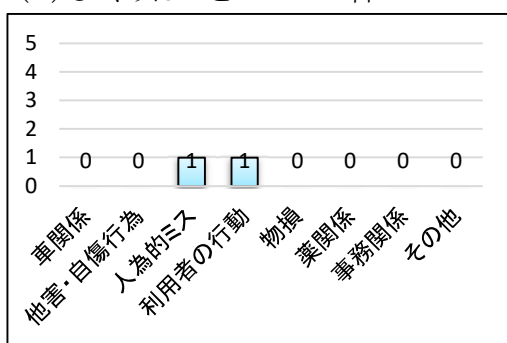
行事名	開催日	内容
避難訓練	6月23日	地震を想定した避難訓練
見学	8月16日	ひまわり畑の見学
避難訓練	12月6日	消防署への火災通報・避難訓練
初詣	1月10～14日	寒川神社、前鳥神社、平塚八幡宮他
新規弁当業者試食会	3月2,4日	契約内容の説明、試食

9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 2 件

(3) 事故報告 3 件



10、重点課題

- ① 新規事業所立ち上げにより、利用者へ不安を与えないよう、綿密に連絡をしていく。
- ② 新型コロナウイルス対応として、衛生用品等が利用者へ行き届くよう準備する。
- ③ 安全な活動の実施
コロナ禍(3密)を意識しての環境整備、活動、イベントの実施。

11、目標

- ① コロナ禍における、安全、安心な活動の実施。

12、総括

- ① 職員、利用者共にえぼっくハウスから異動してきている為、大きな混乱は見られずに取り組むことができた。
- ② 法人内の他生活介護事業所と情報共有しスムーズに連携を図り事業展開できている。
- ③ コロナ禍において、3密を意識をし安全を最優先に活動をした為、イベントの実施をすることができなかった。今後状況を見て開催していきたい。
- ④ 感染予防の観点から月1回のえぼっくハウスとの合同会議を中止にせざるを得ない月もあったが、活動終了後の日々の話し合いを設けることで活動や支援の質を低下させないように取り組むことができた。
- ⑤ 安全を最優先に活動し、感染予防、3密を避けながらの活動となり、できる限り車両を使用しない活動を心がけ、ガソリン代の節約、運転手の負担軽減、地域との関わりにつながった。

キャロット工房(平塚市西真土1-7-56)

1、実施事業

就労継続支援B型

2、目的

障害者総合支援法に規定される就労支援B型事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行う。

3、事業内容

生産活動、外出、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、事業収入

	年間
開所日数	253
件数	5,459
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	38,506
就労支援事業収入(単位:千円)	47,405

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者27名(男性18名、女性9名)

(2)年齢構成

18～34歳、平均年齢23.1歳(男性23.7歳、女性21.9歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	5	15	6	1	27		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	2	2			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	0	0	2	1	0	0	3

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	11	0	1	4	2	0	18
女性	9	0	0	0	0	0	9
計	20	0	1	4	2	0	27

6、職員体制

常勤職員7名

(管理者1名、サービス管理責任者1名、職業指導員2名、生活支援員3名(他兼務含))

非常勤職員1名

(生活支援員1名)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月13日	支援検討、情報交換
	5月11日	
	6月8日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	7月13日	支援検討、情報交換
	8月10日	中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	9月14日	
	10月12日	支援検討、情報交換
	11月9日	
	12月21日	
	1月11日	
	2月8日	中止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)
	3月8日	

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
ケース会議	10月14日	情報交換
日本基板ネットワーク事務局 会議	11月1日	
	11月17日	
	11月29日	
基板ネットワーク方向性会議	1月18日	
日本基板ネットワーク事務局 会議	1月31日	
首都圏基板ネットワーク会議	2月3日	
日本基板ネットワーク事務局 会議	3月16日	
	3月30日	

(3) 面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	7月 2,7,9,16,20 27,28,30日	支援計画について
	12月14日	事故の内容について
	1月27日	利用者ご家族と面談
	3月14日	支援計画について

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
安全運転講習	11月19日	技能講習、適性検査

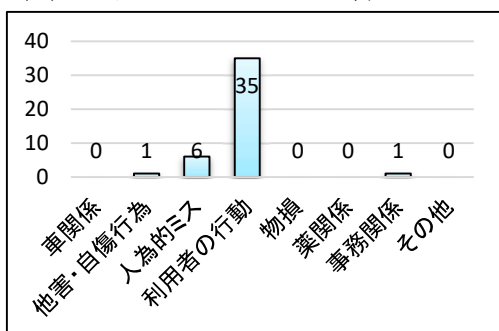
8、行事

行事名	開催日	内容
避難訓練	6月30日	地震を想定した避難訓練
福祉見学会	7月15日	キャロット工房の作業風景の見学
	7月29日	
自主回収基板出荷	9月27日	パソコン解体基板の出荷
実習	10月11～ 15日	作業実習
ハードオフコーポレーション 様見学	10月18日	パソコン解体作業見学
見学者来訪	10月29日	
他事業所見学者来訪	11月2日	作業風景見学
避難訓練	12月1日	消防署への火災通報・避難訓練
職場体験	12月6,7日	実習
相談支援者来訪	1月13日	活動の様子を見学、情報共有
見学	2月2日	キャロット工房の作業の様子を観察
日本テレビ来訪	2月9日	解体作業取材
職場体験	2月18日	キャロット工房の作業の体験
新規弁当業者試食会	3月2,4日	契約内容の説明、試食
アンカーネットワークサービ ス社来訪	3月17日	パソコン解体風景見学
ユーテック社、DELE社来訪	3月23日	

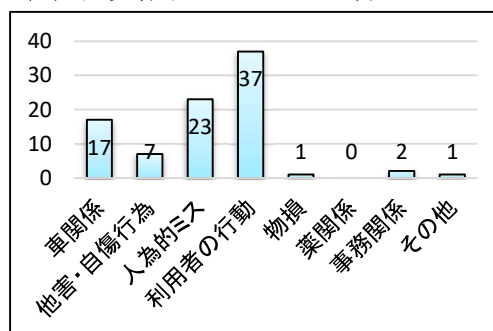
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 3 件

(2) ひやりはっと 43 件



(3) 事故報告 88 件



10、重点課題

- ① 職員間における連絡・報告・相談のできる雰囲気づくりと情報共有ツールの有効活用。
- ② 作業場における整理整頓。
- ③ 継続的な通所が難しくなっている利用者へのアプローチと気持ちのケア。
- ④ 収支バランスの平衡化。

11、目標

- ① キャロット工房が利用者にとって働く場としてだけでなく、安心できる居場所となるよう機能させていく。
- ② いくつかの作業を提供している中、得意不得意に左右されずに様々な作業を経験し、仕事への視野を広げてもらいたい。
- ③ 作業(仕事)を通じて外部との関わりを大切にし、積極的にコミュニケーションをとっていく。

12、総括

- ① 3月をもって青果ことぶきが閉店となった。青果店の作業があるから通所していた利用者は閉店することを冷静に受け入れ、前向きな姿勢を見せてくれた。
- ② パソコン解体事業が今年度に入って更に活発化した。パソコン担当の職員が入り、受け入れ体制を整えて活動したことで企業・地域からのパソコンの寄付も増え、利用者の作業による事業収入が増加した。パソコン解体用の機材の整理整頓も工夫が必要で、今後も課題である。首都圏基板ネットワーク内の各事業所と連携・情報共有し、自主回収パソコンの基板出荷回数を増やしていきたい。
- ③ 保育園への野菜配達やゴルフボール洗浄作業は年間を通して安定した作業活動ができた。
- ④ 銅線を剥離して銅を採取する作業を新たに導入し、その売却により更に事業収入を増やすことが出来た。
- ⑤ 感染症対策、熱中症対策により利用者の健康状態が維持できたことは良かった。
- ⑥ 来年度に向けて作業が更に忙しくなっていくが、支援検討会議を活用し、利用者支援が最優先であることを見失わないようにする。

トムトム相談室(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

計画相談支援・障害児相談支援

2、目的

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援を行うことにより、ハンディキャップのある方々及びご家族の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービスを利用できるようにすることを目的とする。

3、事業内容

(1) 計画相談支援

① サービス利用支援

サービス等利用計画の作成など

② 継続サービス利用支援

モニタリングの実施、サービス等利用計画の見直し、変更など

(2) 障害児相談支援

① 障害児支援利用援助

障害児支援利用計画の作成など

② 継続障害児支援利用援助

モニタリングの実施、障害児支援継続利用計画の見直し、変更など

4、事業収入

(1) 計画相談支援

	年間
サービス利用支援件数	69
サービス継続支援件数	250
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	4,738

(2) 障害児相談支援

	年間
サービス利用支援件数	25
サービス継続支援件数	52
障がい福祉サービス収入(単位:千円)	1,288

5、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名(他兼務)、相談支援専門員2名(他兼務含))

6、 会議・研修

(1) 内部会議

なし

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市相談事業所	4月27日	情報交換、制度変更についてなど
茅ヶ崎市相談事業所連絡会	10月25日	情報交換他

(3) 面談

面談名	件数	内容
利用者面談	295件	平塚市の利用者面談
	93件	茅ヶ崎市の利用者面談

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
行動援護従業者養成研修	2月17,24日	行動援護について理解と基礎、連携について
	3月3,10日	行動援護の技術について、事例分析(グループワーク)、まとめ

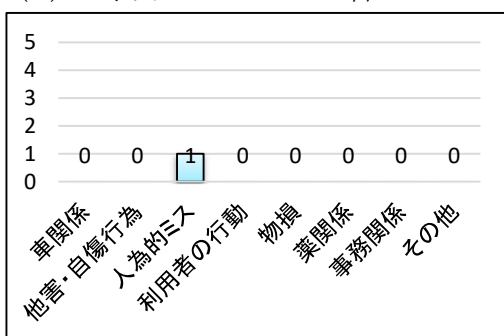
7、 行事

なし

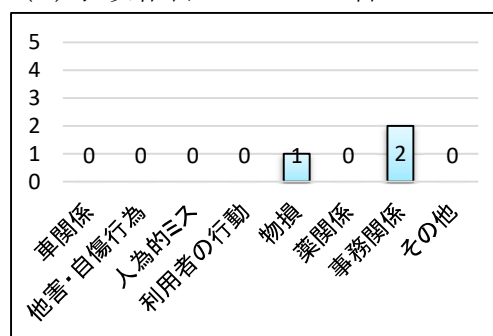
8、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 1 件



(3) 事故報告 3 件



9、 重点課題

<茅ヶ崎支部>

- ① 各関係機関との連携が大切で、こまめに情報共有をしたいが一つの案件に時間かかり、多数の相談に追いつかない現状がある。
- ② 時間内での情報収集が難しく、今回のコロナウィルスの為、直接ご本人の活動の場を視察、面談ができないことが多かった。

<平塚支部>

- ① 成人期における、夜間～早朝、休日の支援、緊急時に対応できる支援が不足している。また支援度の高い利用者の方の家族の負担が大きい。
- ② 利用者の求めているニーズと制度的な支援の枠組みが、かみ合わないケースについての対応が難しい。
- ③ 福祉、教育、就労、行政などが有効に連携して課題解決を行っていく事に課題が多い。

10、目標

<茅ヶ崎支部>

- ① 月ごとの計画を滞りなく行う。
- ② 各利用者の生活が安定するようなサービス調整をする。

<平塚支部>

- ① 支給決定、認定調査等のサービス利用に関する基本的な手続きや相談を円滑に行う。
- ② 緊急時等の通常の支援では対応が難しい内容の相談について、できるだけ課題が解決できるように努めていく。
- ③ 相談事業だけでは解決困難なケースに対しては他の事業所や関係機関との連携も行いながら課題解決に向けて努力をしていく。

11、総括

<茅ヶ崎支部>

利用者を取り巻く状況は、支援度の高い方や医療的ケアを伴う方などの日中および夜間も含めた社会資源が、近隣と同様不足している。一方、グループホームや放課後等デイサービスは事業所の増加傾向が続いている。しかし、支援度の高い方が安心して利用できる状況になっているとは言えない。

コロナウイルスの感染状況の影響もあり、訪問や面談などの実施がなかなか難しい時期があった。

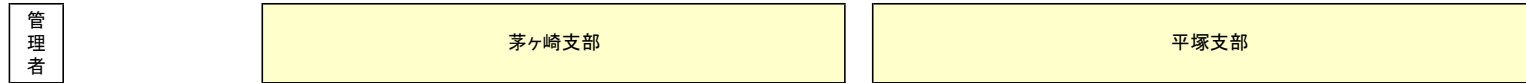
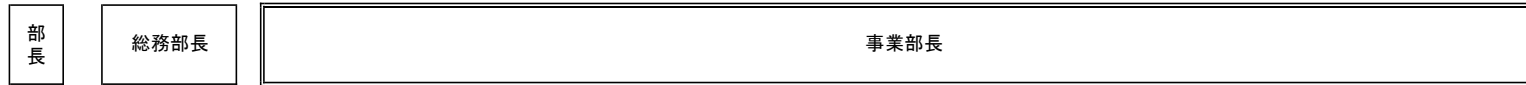
また、行政の支給決定等が利用者のニーズに即さない場合もあり、対応に苦慮しているケースもあった。

<平塚支部>

利用者を取り巻く状況やコロナウイルスの影響は、茅ヶ崎と同様の傾向であった。行政側の対応に関しても人事異動等が多くケースワーカーが利用者の状況を把握しきれていないケースが多く、必要性を伝えてもサービスが市の基準を外れてしまうとの理由で希望通り支給決定を受けられないケースもあった。また事務的な作業が多い点も継続している。今後はご家族の高齢化等に伴い「親亡き後の問題」に関する相談が増えてくると思われ、特に支援度の高い方の社会資源が不足している状況は厳しい状況が続いている。

特定非営利活動法人トムトム

別紙2: 令和3年度組織図



エリア	事業所名	サービス名	分室	職員配置
本部	茅ヶ崎市モンキーポッド	総務部 経理・労務・庶務	茅ヶ崎市日中一時支援	非常勤
				嘱託
				非常勤
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				常勤
茅ヶ崎市 平塚市	茅ヶ崎市 平塚市	茅ヶ崎市からんころん (9月末まで)	茅ヶ崎市日中一時支援	非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				常勤
				茅ヶ崎市 平塚市
嘱託				
常勤				
非常勤				
嘱託				
常勤				
非常勤				
嘱託				
常勤				
非常勤				
常勤				
茅ヶ崎市 平塚市	茅ヶ崎市 平塚市	計画相談支援 障害児相談支援	計画相談支援	
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				常勤
				茅ヶ崎市 平塚市
嘱託				
常勤				
非常勤				
嘱託				
常勤				
非常勤				
嘱託				
常勤				
非常勤				
常勤				
茅ヶ崎市 平塚市	茅ヶ崎市 平塚市	生活介護	生活介護	
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				常勤
				茅ヶ崎市 平塚市
嘱託				
常勤				
非常勤				
嘱託				
常勤				
非常勤				
嘱託				
常勤				
非常勤				
常勤				
茅ヶ崎市 平塚市	茅ヶ崎市 平塚市	平塚市日中一時支援	平塚市日中一時支援	
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				常勤
				茅ヶ崎市 平塚市
嘱託				
常勤				
非常勤				
嘱託				
常勤				
非常勤				
嘱託				
常勤				
非常勤				
常勤				
茅ヶ崎市 平塚市	茅ヶ崎市 平塚市	住宅介護	住宅介護	
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				嘱託
				常勤
				非常勤
				常勤
				茅ヶ崎市 平塚市
嘱託				
常勤				
非常勤				
嘱託				
常勤				
非常勤				
嘱託				
常勤				
非常勤				
常勤				

職員
 常勤 34名
 嘱託 5名
 非常勤 72名
 アルバイト 0名
 合計 111名
 令和4年3月31日現在